



初代 水原 豊 主任教授

2026年研修プログラム
専攻医説明用資料



昭和医科大学医学部 産婦人科学講座

1928年11月開講
初代産婦人科学教授
水原 豊
(水原秋櫻子)

2025年で創立97年

昭和医科大学の五十年を詠んだ秋櫻子の句
「すすき野に 大学舎成りぬ ああ五十年」

水原秋櫻子は、高浜虚子に師事し、昭和初期の「ホトトギス」を彩る4Sの一人として活躍。従来の俳句に短歌的表現を取り入れるなど、新鮮な句作を作り、その後に俳句誌「馬酔木」を主宰していた。



昭和医科大学医学部産婦人科学講座

Mission Statement

- 患者本位の質の高い産婦人科医療を提供できる人材を育成し、地域医療に貢献する。
 - エビデンスに基づいた正しい医療情報を分りやすく丁寧に患者に提供し、患者自身が納得して治療を受けられるような患者に優しい産婦人科医療を実践できる人材を育成することで、地域医療に貢献する。
- より低侵襲、より高効率、より高精度な検査法や治療法の開発を通して産婦人科医療の進歩に貢献する。
 - 患者への負担を最小限にして効率よく最大限の効果を発揮する検査法や治療法の開発研究を行うことで、産婦人科医療の進歩に貢献する。
- 昭和医科大学産婦人科学講座の伝統を尊重し、誇りをもって日本および世界の産婦人科医療を牽引する。
 - 向上心を持って質の高い医療や研究を実践し、その成果を昭和大学産婦人科学講座の誇りを持って国内外に積極的に発信する。
 - 産婦人科医療におけるオピニオンリーダーとして、学会や社会で活躍できる人材を育成する。

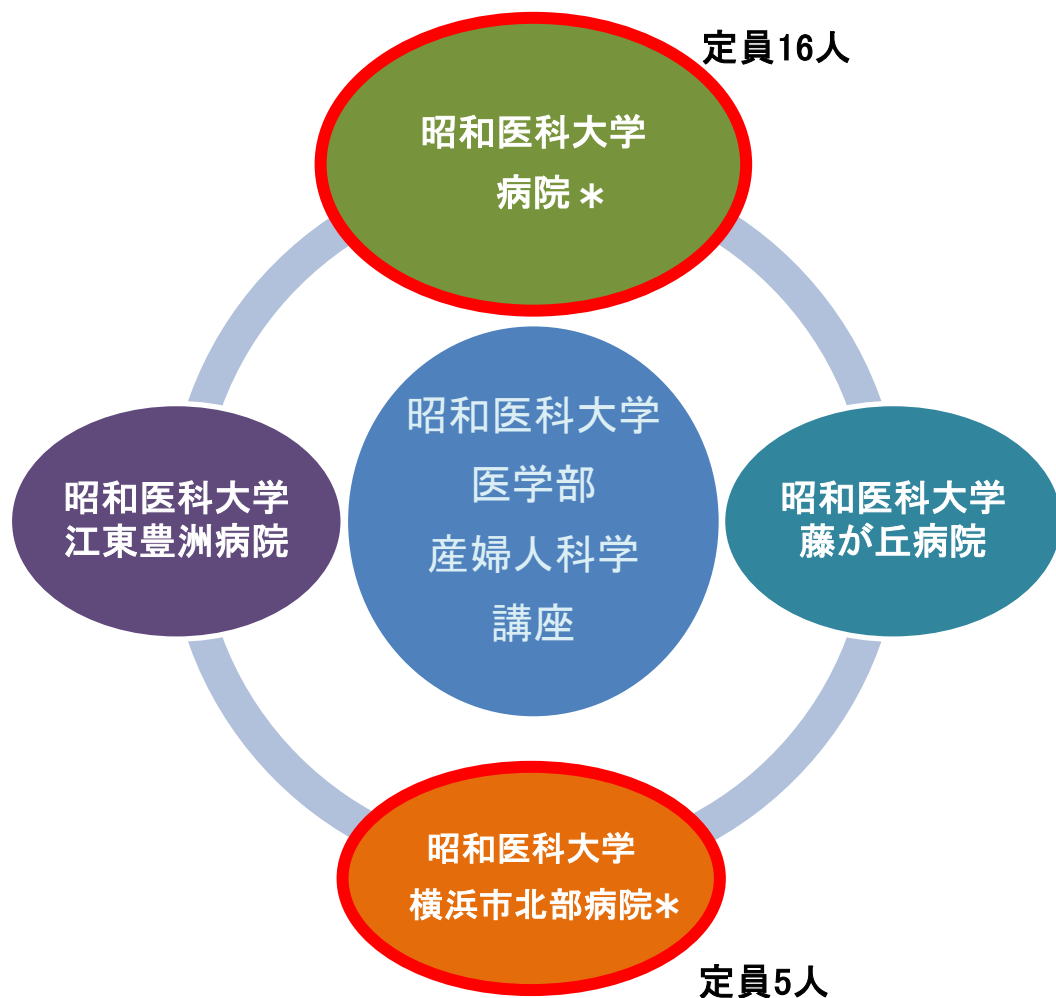
昭和医科大学医学部産婦人科学講座



* 産婦人科専門医研修プログラム 基幹病院

プログラム連携医療機関

* 専攻医研修での地域研修施設



2025年3月現在

東京都保健医療公社 荏原病院
母子愛育会 愛育病院
国立成育医療研究センター
がん研究会有明病院
牧田総合病院
東京臨海病院
埼玉県立がんセンター
聖隷浜松病院
亀田総合病院
慶愛病院
帯広厚生病院
白河厚生総合病院
竹田総合病院
水戸赤十字病院
茨城県立中央病院
千葉西総合病院
東京ベイ・浦安市川医療センター
東京歯科大学市川総合病院
国立埼玉病院
榊原記念総合病院
公立昭和病院
茅ヶ崎市立病院

(大田区)
(港区)
(世田谷区)
(江東区)
(大田区)
(江戸川区)
(埼玉県・伊奈町)
(静岡県・浜松市)
(千葉県・鴨川市)
(北海道・帯広市)
(北海道・帯広市)
(福島県・白河市)
(福島県・会津若松市)
(茨城県・水戸市)
(茨城県・笠間市)
(千葉県・松戸市)
(千葉県・浦安市)
(千葉県・市川市)
(埼玉県・和光市)
(東京・府中市)
(東京・小平市)
(神奈川県・茅ヶ崎市)



専攻医研修とその後のタイムスケジュール

研修開始からサブスペシャリティ取得

産婦人科専門研修プログラムが2つあり、定員21人

- 昭和医科大学病院(16)
- 昭和医科大学横浜市北部病院(5) (定員:2025年実績)

1年目

研修開始

- 本院
- 附属病院(分院)

2年目

地域研修

- 水戸日赤
- 白河厚生病院
- 東京ベイ浦安病院
- 公立昭和病院
- 慶愛病院
- 千葉西病院
- 聖隷浜松
- 東京歯大市川総合病院
- 国立埼玉病院
- 茨城県立中央病院など

3年目

研修の確認

- 附属病院(本院・北部・豊洲・藤が丘)
- 国立成育医療研究センター
- 愛育病院
- 牧田総合病院
- 荏原病院

4年目

専門医試験

- 本院

専門医取得後の進路

学位取得

- 大学院
- 国内留学
国立成育医療研究センター研究所
国立がん研究センター研究所
国立感染症研究所 など

海外留学

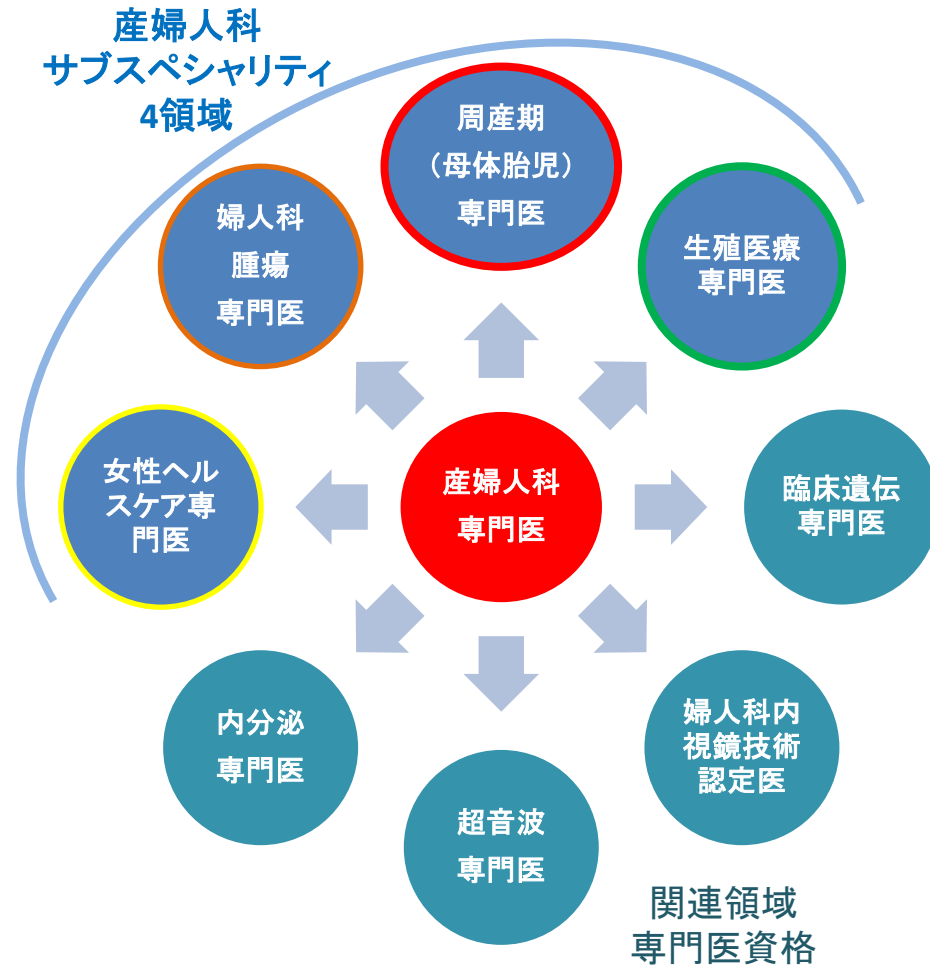
専門研修(学内・学外)

- 腫瘍: 癌研有明・埼玉がん・藤が丘・水戸
- 生殖内分泌: 成育・加藤LC
- 鏡視下手術: 荏原・水戸
- 女性ヘルスケア: 北部(骨盤底センター)



昭和医科大学医学部産婦人科学講座

優れている点③ サブスペシャリティの取得を目指した専門研修が可能



充実した専門教育のための連携施設

1. 周産期(母体胎児)専門医:

- 国立成育医療研究センター
- 愛育病院
- 榊原記念総合病院
- 亀田総合病院*
- 聖隷浜松病院*

*都外の施設

2. 婦人科腫瘍専門医:

- 癌研究会有明病院
- 埼玉県立がんセンター*
- 水戸赤十字病院*

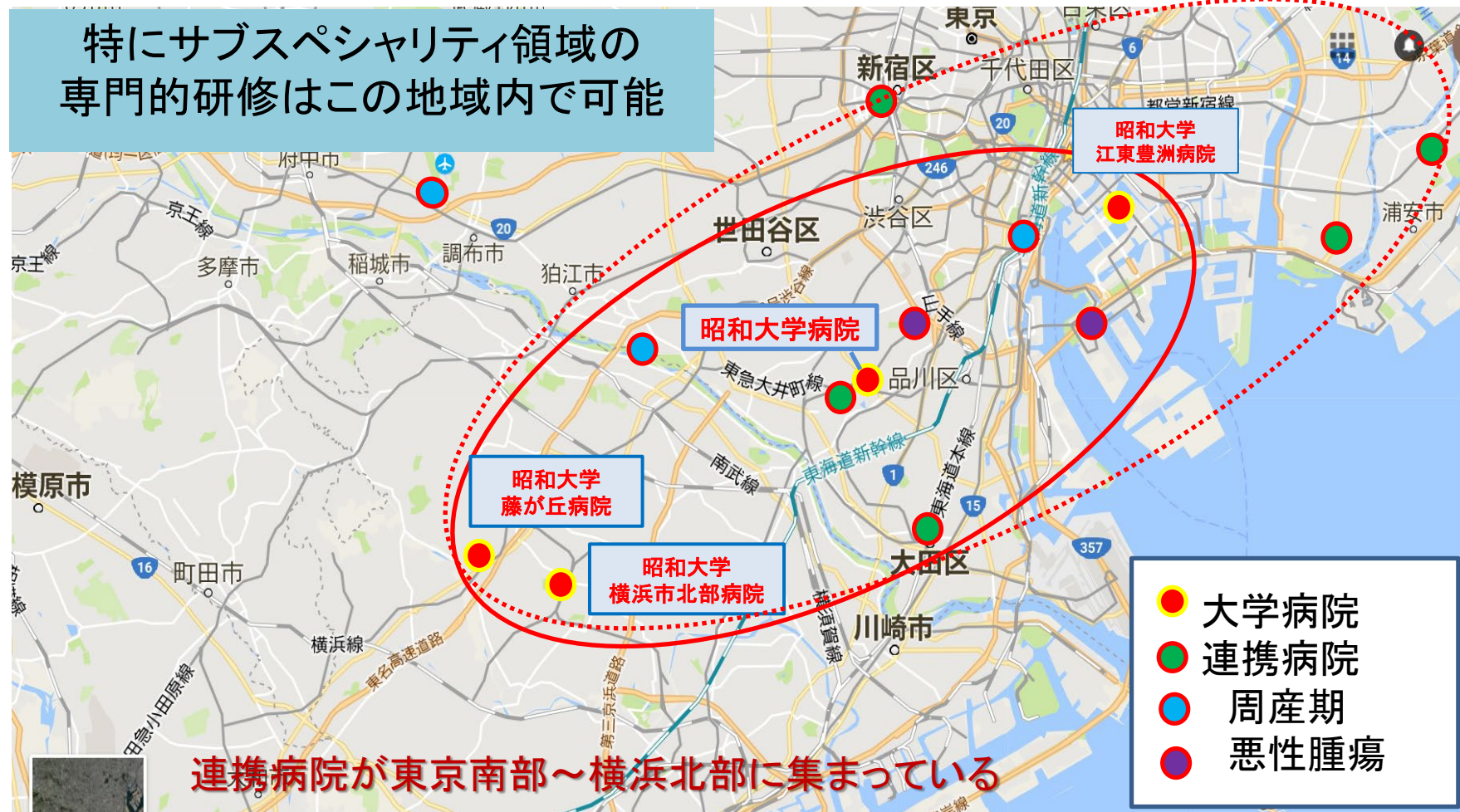
3. 生殖医療専門医:

- 国立成育医療研究センター不妊診療科
- 加藤レディースクリニック

4. 腹腔鏡技術認定医:

- 荏原病院
- 癌研究会有明病院
- 東京ベイ・浦安市川医療センター*
- 水戸赤十字病院*

- 関連施設が東京南部—横浜北部の地区に集中している（入局後の移動が少ない）



昭和医科大学医学部産婦人科学講座



優れている点① 大学附属4病院を合わせた症例数が豊富

1. 分娩総数は年間約4,000件(帝王切開1,200件)、総手術数も帝王切開を含め年間約4,000件と非常に多い
2. 3病院が周産期センターに認定:昭和医科大学病院は母体救命対応型総合周産期センター(通称:スーパー周産期センター)である
3. 腹腔鏡下手術総数:年間1,100件で、4施設に腹腔鏡専門医が在籍する
4. 体外受精:年間250サイクル(大学病院としては最も多い施設の一つ)
5. 悪性腫瘍手術:年間370件を実施する
6. 常勤医師総数:4病院で約140人在籍し、指導医も充実。関連病院を含め180人が在籍する(働き方改革のへの対応している)
7. 全てのサブスペシャリティの専門医取得が可能である
8. 圧倒的な症例数を生かした臨床研究を実施



昭和医科大学病院



昭和医科大学横浜市北部病院



優れている点② 先進的な医療にも積極的に取り組んでいる

1. 胎児超音波検査での胎児奇形の検出精度は国内トップクラス。過去5年間で胎児心奇形での未診断例はVSDのみ。
2. 世界初の超音波胎児治療に成功(2013年)し、その実用化を目指した臨床研究が進行中である。その他にも子宮内の胎児手術などの実施に向けた検討が進んでいる。
3. 母体血胎児染色体検査(NIPT)を含む出生前遺伝学的検査の研究で国内をリードしている。
4. 我が国の母体救命普及のための教育・研修プログラム(J-MELS)の作成の主体となっており、スーパー総合周産期センターとしての認定を受けている。
5. 遺伝性乳がん卵巣がん症候群の遺伝子検査、保因者管理、予防的卵巣卵管切除の実績は大学病院として最も多い。
6. 婦人科ロボット支援下手術(ダビンチを用いた手術)として広汎子宮全摘術・子宮体癌手術・傍大動脈郭清などを行っており、症例数は都内で最も多い。
7. 骨盤臓器脱の腹腔鏡手術・ロボット支援下手術での仙骨脛固定術の手術数は国内有数。



昭和医科大学医学部産婦人科学講座

優れている点③ 昭和医科大学病院での最近の新たな取り組み

1. 産科麻酔部門の設置(2018年～)

- 産科麻酔を加藤里絵教授が担当している。
- 産科麻酔に関する専門研修ができる体制を構築している。
- 麻酔標榜医の取得を推奨し、十分な研修が可能である。

2. 昭和医科大学スポーツ医学運動研究所との連携

- 日本体育大学との連携で、女性アスリートの無月経や月経周期とパフォーマンスの関連での研究を行っている。
- 女性アスリート外来

3. 女性骨盤底センター(横浜市北部病院)の開設(2019年～)

- 骨盤臓器脱、下部尿路症状(排尿障害)、膀胱陰嚢など女性の骨盤底疾患を専門に扱い、総合的に診療を行っている。

4. リプロダクションセンター

- 高度生殖補助医療を実施するセンターが昭和医科大学病院と昭和医科大学江東豊洲病院の2施設で展開。

女性骨盤底センター 昭和医科大学横浜市北部病 院



- 産婦人科と泌尿器科が連携して、骨盤臓器脱、下部尿路症状(排尿障害)、膀胱陰嚢など女性の骨盤底疾患を診療するセンター
- このような専門のセンターの設置は大学病院で初。



優れている点④ 各専門分野に専門医や指導医が多く在籍する。

昭和医科大学病院に在籍する専門医・指導医数

日本専門医機構 産婦人科専門医	(36名)	日本遺伝性腫瘍学会 遺伝性腫瘍専門医	(2名)
日本産科婦人科学会 産婦人科指導医	(21名)	日本臨床細胞学会 細胞診専門医	(3名)
日本周産期・新生児医学会 周産期(母体・胎児)専門医	(10名)	日本臨床細胞学会 細胞診教育研修指導医	(3名)
日本周産期・新生児医学会 周産期(母体・胎児)指導医	(5名)	新生児蘇生法(NCPR)専門コース修了	(33名)
日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医	(7名)	新生児蘇生法(NCPR)専門コースインストラクター	(7名)
日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍指導医	(3名)	J-MELS ベーシックコース認定者	(23名)
日本生殖医学会 生殖医療専門医	(2名)	J-MELS ベーシックコース・インストラクター	(14名)
日本生殖医学会 生殖医療指導医	(1名)	J-MELS アドバンスコース・インストラクター	(3名)
日本女性医学会 女性ヘルスケア専門医	(4名)	Fetal Medicine Foundation オペレータ資格	(7名)
日本女性医学会 女性ヘルスケア指導医	(3名)	日本スポーツ協会 公認スポーツドクター	(2名)
母体保護法指定医	(10名)	日本胎児心臓病学会 胎児心エコー認証医	(2名)
日本超音波医学会 超音波専門医	(9名)	日本女性心身医学会 認定医	(2名)
日本超音波医学会 超音波指導医	(6名)	da Vinci System Certificate (Console Surgeon)	(8名)
日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医	(10名)	厚生労働省 臨床修練指導医	(1名)
日本人類遺伝学会 臨床遺伝指導医	(1名)	日本ロボット外科学会 専門医(婦人科)	(2名)
日本内分泌学会 内分泌代謝科(産婦人科)専門医	(2名)	女性のヘルスケアアドバイザー	(4名)
日本内分泌学会 内分泌代謝科(産婦人科)指導医	(1名)	緩和ケア研修会修了	(26名)
日本内視鏡外科学会 技術認定医(産科婦人科領域)	(5名)	日本産婦人科医会 母と子のメンタルヘルスケア研修会修了	(4名)
日本産科婦人科内視鏡学会 腹腔鏡技術認定医	(6名)		
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医	(9名)		
同 がん治療認定医指導責任者	(1名)		

2025年4月1日の時点

昭和医科大学医学部産婦人科学講座



優れている点⑤ 大学院を併設し、学位取得が可能

1. 産婦人科専門医の取得後には大学院への入学を推奨

- 入学は産婦人科専門医取得後を推奨している
 - ◆ 興味のある分野を明確にしてから研究に取り組むことができる
 - ◆ 直ちに研究開始して一定以上のレベルの論文を書くことで**3年での早期卒業**が可能であり、その実績が豊富にある
- 大学院生の期間は基本的に研究などを優先した勤務になる
- 原則、ベットフリーになって研究に専念できる
- 国内・海外留学も可能

2. 大学院生の**国内留学先**

- 国立成育医療研究センター研究所
- 国立がん研究センター研究所
- 国立がん研究センター東病院研究所
- 国立感染症研究所 など

3. 大学院に入らなくとも学位取得は可能

- IF 1以上の英語研究論文を書くことが条件



優れている点⑥ 助教(医科)として採用可能

1. 助教(医科)として採用:

- 最初から給与・社会保障などが提供されるため、経済的に研修に専念しやすい
- 収入が安定するため早い時期からのバイトに伴うリスクを冒さなくて良い

2. バイトは秋以降開始(収入は倍増する):

- バイトは専攻医1年目の秋(10月)以降から派遣する
- 平日にバイトに行くことで、収入が大幅にアップする
(バックアップを受けれるような体制のある施設を選択して派遣)
- 日曜日の当直バイトなども希望によって斡旋する

3. メンター制度を導入

- 3年間の専攻医研修中はメンターを決めて、特に学外での研修をサポートする体制を採用した



昭和医科大学医学部産婦人科学講座

優れている点⑦ シフト制の勤務体制(勤務時間37.5時間/週)

昭和医科大学付属施設は**シフト制の勤務体制(変形労働制)**となっている

1. 宿直明けの勤務はなし(原則)
 - **宿直は週1回、土曜または日曜の日当直は月1回までを原則とする**
 - 連続勤務時間は原則24時間以内とする
 - 勤務間インターバルも考慮する
2. 時間外の長時間労働がないシステムで運用されている
3. 土曜・日曜の週日化が議論されている
4. 勤務時間もシフトの中で決まるため、平日などの休暇も取りやすい
5. 夏休みや年末年始の休み、有給休暇を合わせ、**年間でおおよそ3週間程度の休暇取得**ができる(正式な夏季休暇6日、有給休暇5日以上の消化が大学の達成義務)

2024年の働き方改革(B水準)
時間外勤務時間の制限
学内960時間
学外960時間 への対応も十分に可能

- 付記
- 外勤は勤務外の個人責任での活動であると規定
 - 基本の勤務時間は37.5時間/週(昼休み1時間は除く)
 - 勤務シフトの工夫で時間外勤務を40時間未満/週



優れている点⑧

- 海外留学などの実績が豊富、また、積極的に推奨
- 学位取得後にpostdoctoral fellowとして留学実績豊富

主な海外留学先

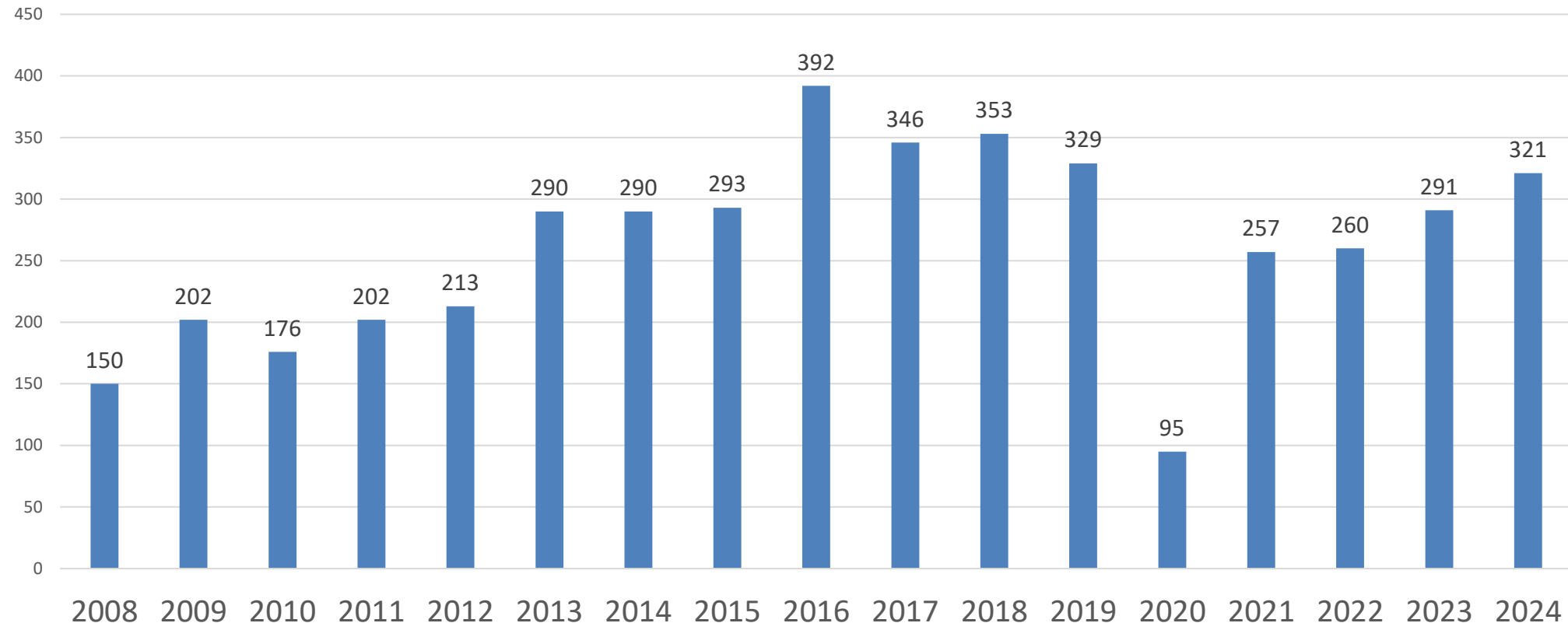
- Tufts-New England Medical Center, Tufts University. Division of Genetics, Boston, MA
- The Eunice Kennedy Shriver National Institute of Child Health and Human Development (NICHD), Bethesda, Maryland
- The Harris Birthright Research Centre for Fetal Medicine, King's College Hospital, UK
- University of Bologna, department of Ob/Gyn, Bologna, Italy
- University of California, San Diego, Department of Medicine Cancer Center, San Diego, CA
- University of California, Davis, Department of Nutrition and Internal Medicine, CA
- University of New Mexico, Depart of Ob/Gyn, Albuquerque, NM
- MD Anderson Cancer Center, Texas, USA
- University of Cambridge, Depart of Ob/Gyn, Cambridge, UK
- Bourn Hall clinic, Cambridge, UK
- Buffalo医科学研究所 生化学・内分泌分野、NY
- Johns Hopkins Bloomberg School of Public Health's Master of Public Health, Baltimore, MD(大学院)
- City University of New York, College of Staten Island, NY
- Washington Hospital (Washington DC)
- Universitätsmedizin Mannheim (マンハイム大学病院, ドイツ)
- Department of Obstetrics and Gynecology, Texas Children's Hospital, Baylor College of Medicine, Houston, TX

留学時に2年間の基本給を支給する制度あり
産婦人科には8人の枠がある。



優れている点⑨ 国内・海外の学会での発表・論文などの実績は豊富

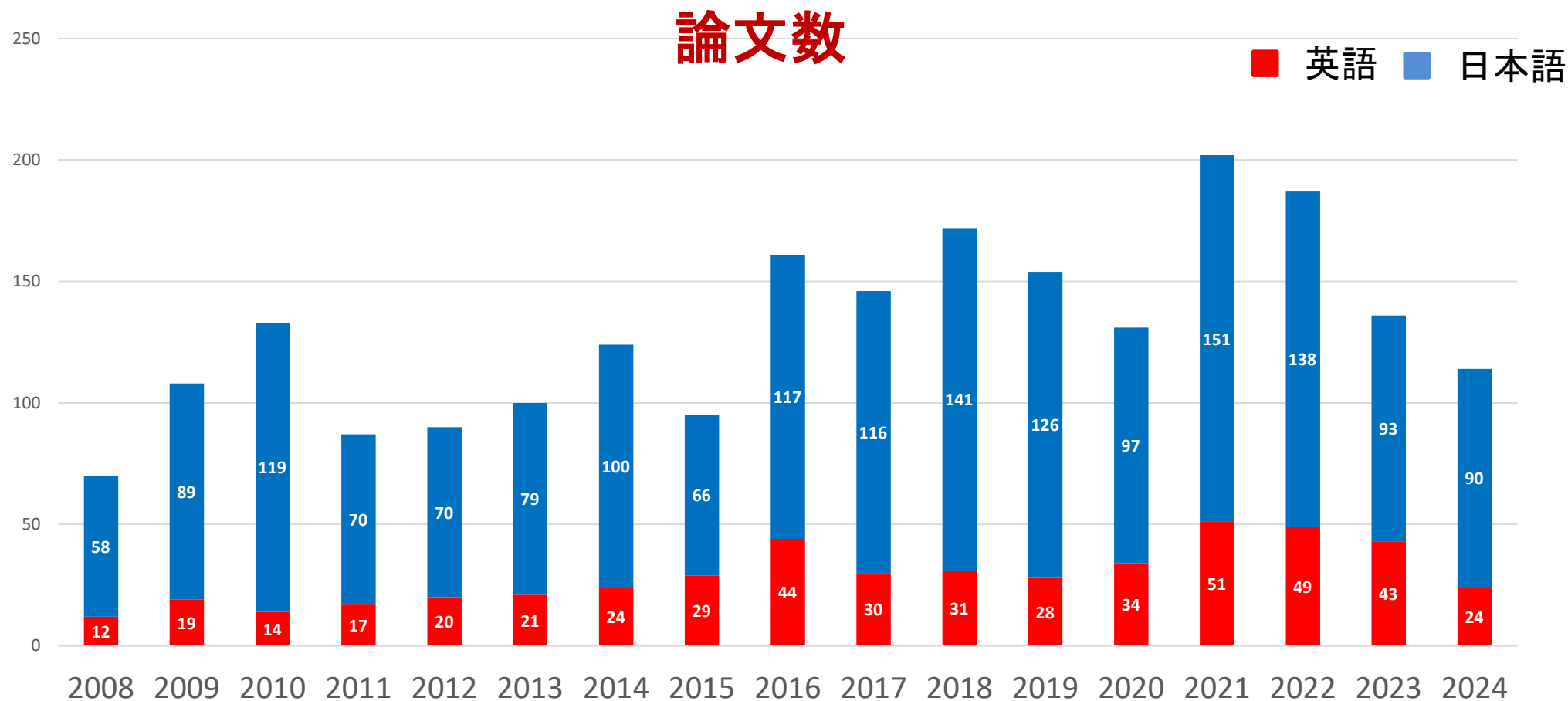
学会発表＋講演の合計数の推移



昭和医科大学医学部産婦人科学講座



優れている点⑩ 国内・海外の学会での発表・論文などの実績は豊富



昭和医科大学医学部産婦人科学講座



優れている点⑩ 国内・海外の学会での発表・論文などの実績は豊富

主な掲載雑誌

Lancet
Obstetrics and Gynecology
Am J Obstet Gynecol
Br J Obstet Gynecol
Prenat Diagn
Ultrasound Obstet Gynecol
Fetal Diagn Thr
Hum Genet
Placenta
Reproductive Sciences
J Hum Genet
J Perinat Med

Plos One
J Obstet Gynecol Res
J Maternal Fetal Neonat Med
Arch Gynecol Obstet
Hypertens Res
BMJ Open
Gynecol Minim Invasive Ther
Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol
Gynecol Oncol
Int J Clin Oncol
J Virol
Viruses

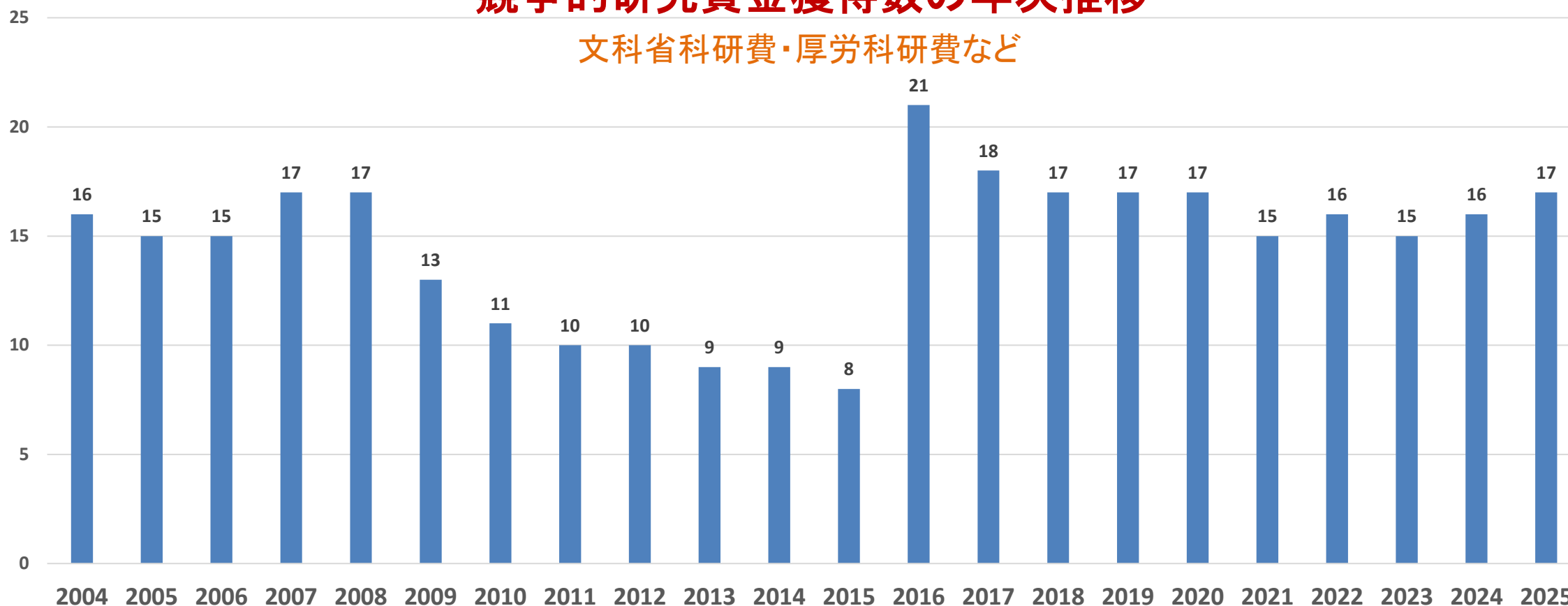
昭和医科大学医学部産婦人科学講座



優れている点⑪ 公的競争的研究資金は学内の講座で最も多く獲得している。

競争的研究資金獲得数の年次推移

文科省科研費・厚労科研費など





昭和医科大学医学部産婦人科学講座

令和7年度採択研究(文部科学省科学研究費)

種別	氏名	研究タイトル
基盤C	関沢 明彦	妊婦血漿中cfDNAのゲノム解析データを用いた周産期予後の評価法の開発
	松本 光司	HPVワクチン接種後の血清抗体価:発症予防抗体価と持続期間の検討
	市塚 清健	次世代型HIFUトランスデューサを用いた病的胎盤に対する非侵襲治療に向けた基礎的検討
	金子 真由美	アスピリン抵抗性の遺伝学的解析による妊娠高血圧腎症の病態解明と予防・治療開発
	竹中 慎	術者鉗子もしくは手術工程に連動する子宮マニピュレーターロボットの開発
	川嶋 章弘	ADORA2B抑制による胎盤幹細胞の酸化ストレス応答とPE予防戦略の開発
	三村 貴志	深層学習を用いたコルポスコピーAI診断支援システムの開発
	中林 誠	AI画像認識モデルを用いた子宮マニピュレーターロボットの自動操縦
スタート支援	朝見 友香	ゲノム異常を用いた子宮体癌のリンパ節転移を術前に予測する機械学習モデルの構築
若手	瀬尾 晃平	CDH1に対するFETO後のバルーン除去:HIFUによる新規胎児治療法の開発
	後藤未奈子	AGEsに着目した妊娠高血圧症候群の発症機序の解明とプレコンセプションケアへの応用



昭和医科大学医学部産婦人科学講座

令和7年度採択研究（AMED・こども家庭庁・厚労省関連科研費など）

氏名		研究タイトル
こども家庭科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）		
研究代表 研究分担	関沢 明彦 小出・向井・牧野	社会状況等を踏まえた、適切な妊産婦健康診査の検討に資する研究
研究分担	関沢・小出	HTLV-1母子感染対策および支援体制の課題の検討と対策に関する研究（研究代表者：内丸 薫）
研究分担	関沢・白土・小出	出生前検査に関する情報提供体制、遺伝カウンセリング体制、支援体制の構築のための研究（研究代表者：三宅秀彦）
AMED 感染症実用化研究事業 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業		
研究代表	松本 光司	思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する疫学研究
研究分担	関沢 明彦	HTLV-1水平感染の動向と検査法・検査体制の整備
2023年度 成育医療研究開発費		
研究分担	関沢・川嶋	妊婦血中遊離核酸を標的とした診断ゲノミクス技術レパートリーの確立（研究代表者：中林一彦）



昭和医科大学医学部産婦人科学講座

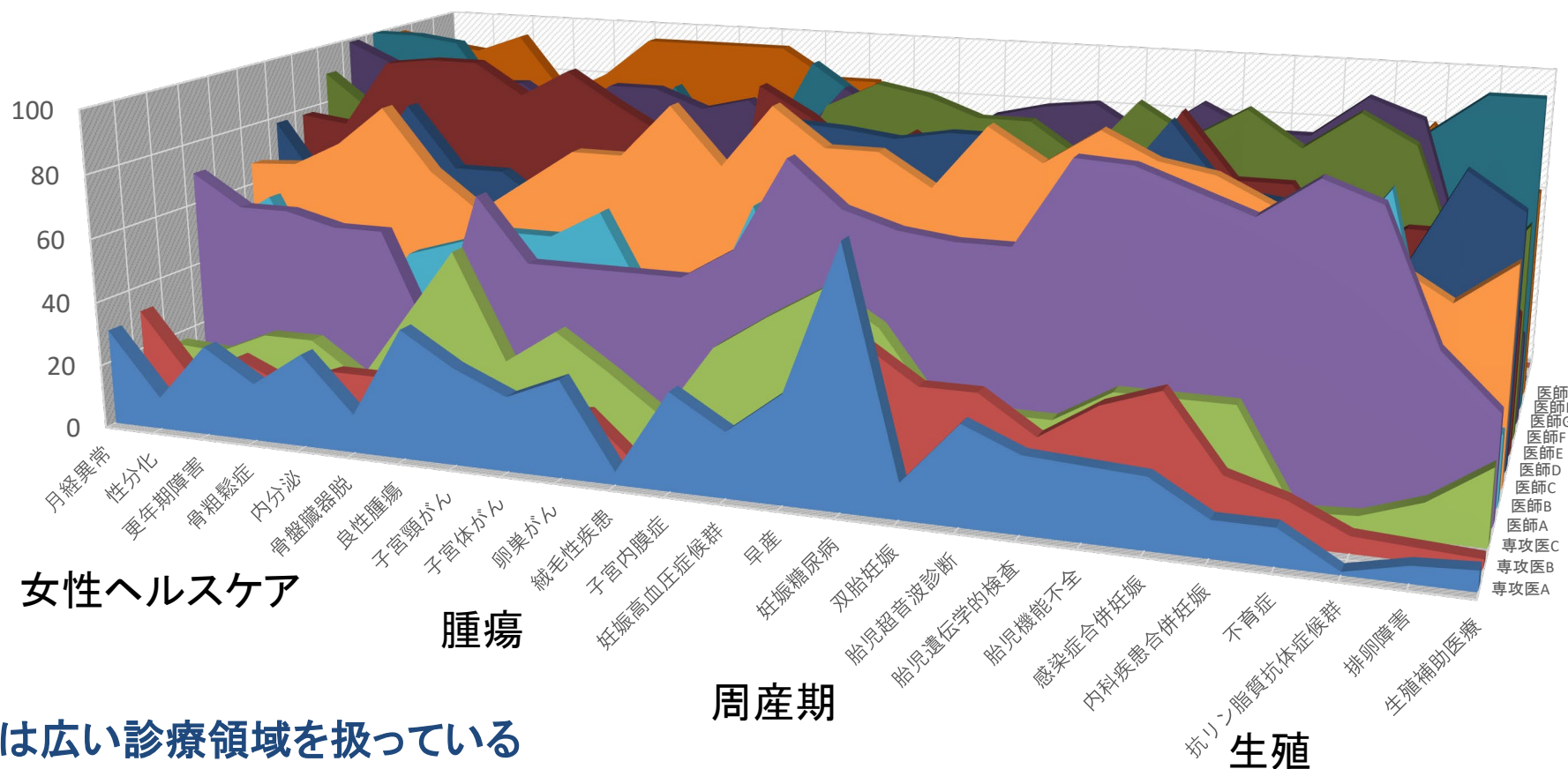
優れている点⑫ 日本産科婦人科学会学術集会でメインのシンポジウムで多くのシンポジストを輩出

氏名	年度	学術集会	タイトル
関沢 明彦	2003	55	妊娠中毒症における絨毛傷害の証明とその機序の遺伝子学的解明
市塚 清健	2007	59	強出力集束超音波(HIFU)を用いた栄養血管閉塞による子宮筋腫の低侵襲治療
長谷川潤一	2008	60	臍帯異常の早期診断とハイリスク群の抽出及び管理に関する研究
松岡 隆	2009	61	胎児異常並びに諸因子の多変量解析に基づく分娩時出血多量の予知に関する研究
小出 馨子	2013	65	ヒト初期絨毛遺伝子の変化の着目した妊娠高血圧症候群発症の予知と予防
大槻 克文	2014	66	日産婦データベースを用いた因子解析と多施設共同 RCT に基づく背景別早産予防対策
松本 光司	2015	67	CIN進展リスクの新たな指標の探索と子宮頸癌における病態バイオマーカーとしてのHPVタイプ
仲村 将光	2016	68	臍帯血流動態の胎児well-beingおよび神経学的予後に与える影響
小貫麻美子	2021	73	HPVタイピング・ウイルスゲノム解析によるCINリスク進展効果とわが国における9価ワクチンの効果予測
川嶋 章弘	2022	74	妊娠高血圧腎症の発症につながる妊娠初期絨毛の機能変化についての検討
朝見 友香	2025	77	日本人子宮体癌患者における分子遺伝的分類の有用性評価と新たな治療標的の探索

昭和医科大学医学部産婦人科学講座



- 優れている点⑬ いろいろな分野の専門家の指導を受けることができる



多くの医師の指導を受けることができる

これが大学病院の最大のメリット

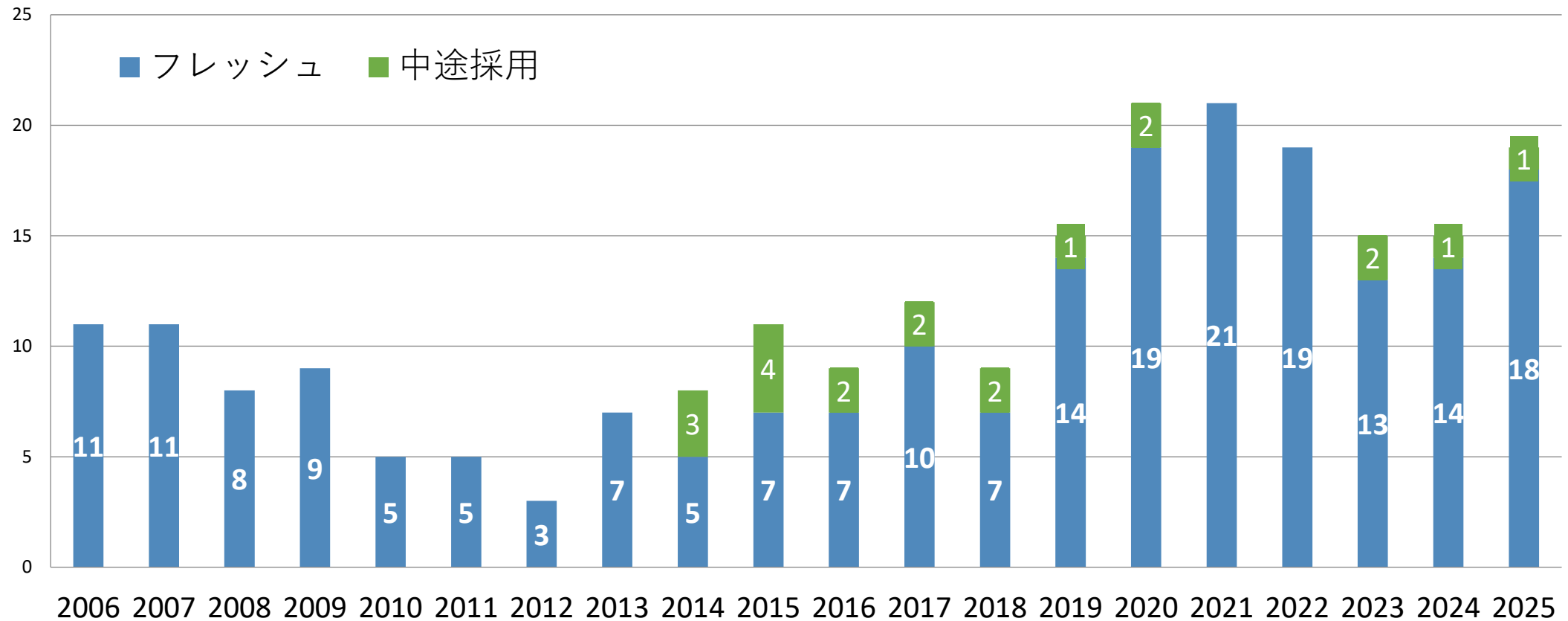
- 産婦人科は広い診療領域を扱っている
- 一人の医師が専門的知識を持って診療できる範囲は限定的である
- 多くの医師の指導を受けた方が、広い視野をもった医師に成長できる



昭和医科大学医学部産婦人科学講座

優れている点⑭

- ・医師数が約180人と多く在籍している。
- ・毎年一定数の新入教室員が入っている。



岡井 崇 前教授

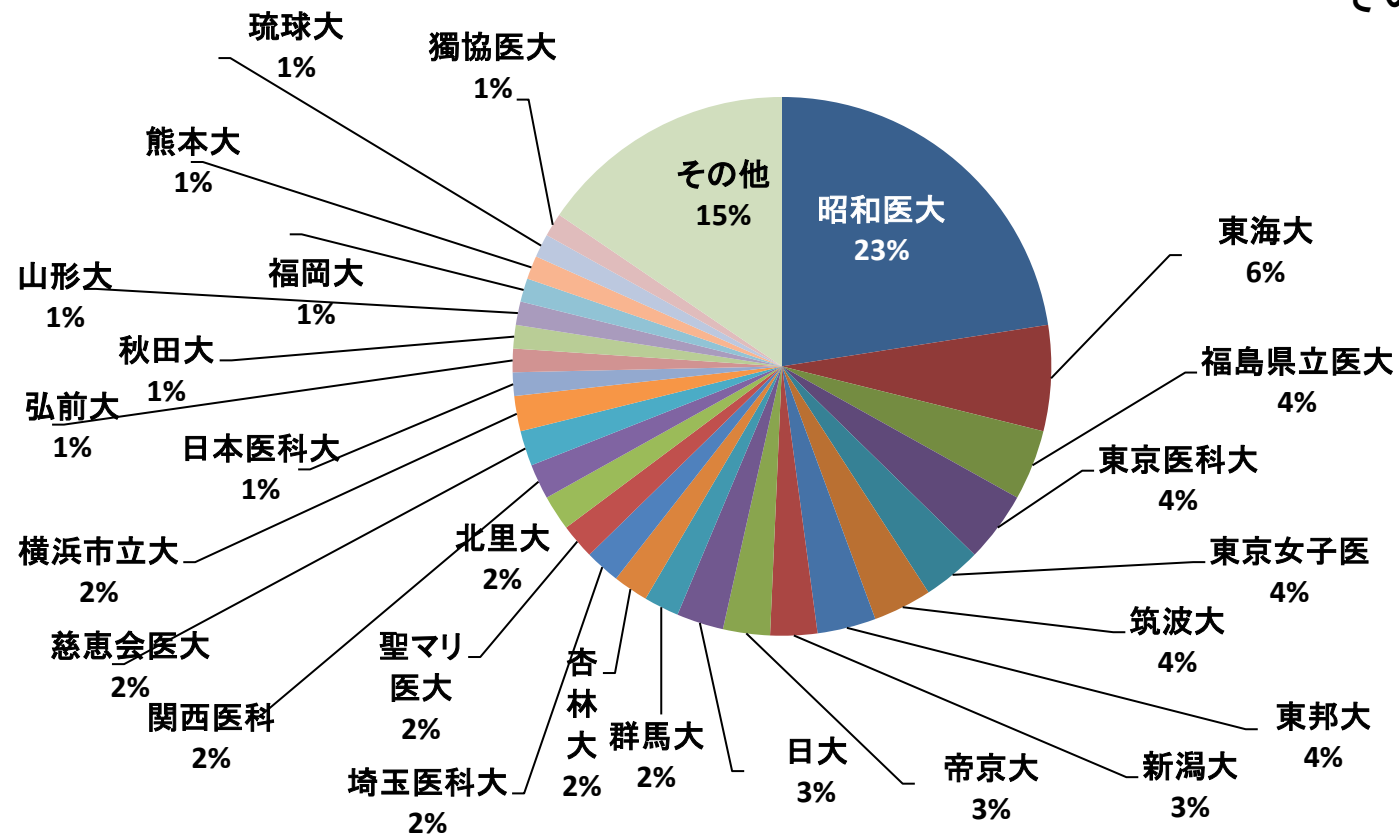
関沢 明彦



昭和医科大学医学部産婦人科学講座

優れている点⑮ 出身大学が多様、差別はない

過去10年間の新卒での入局者の出身大学(2016～2025)



その他:

金沢大
千葉大
富山大
信州大
山梨大
福井大
三重大
山口大
徳島大
愛媛大
佐賀大

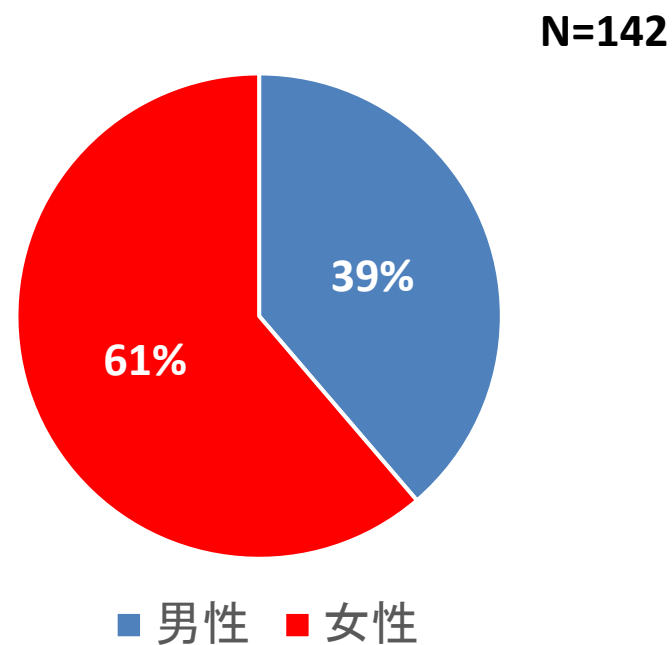
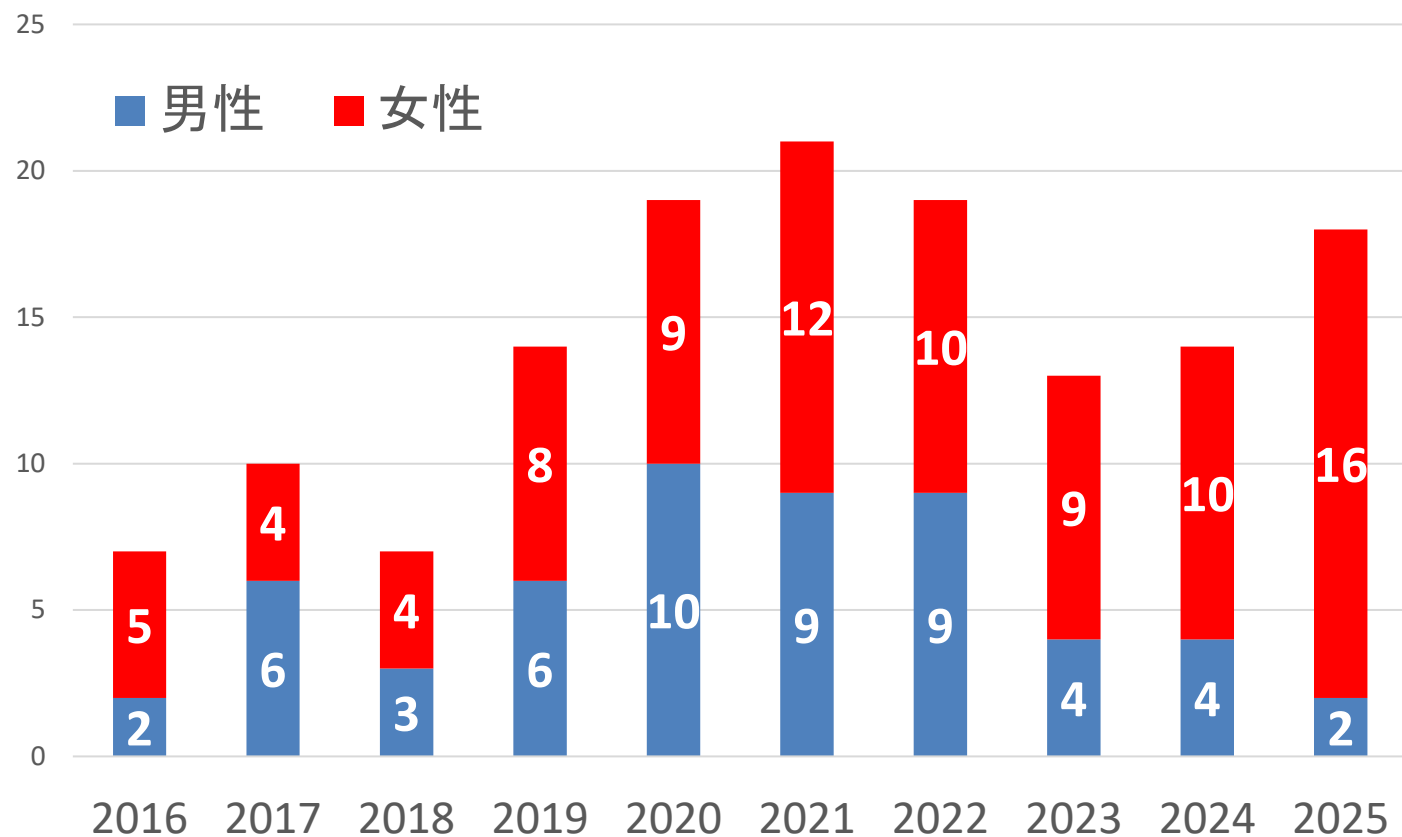
札幌医科大
岩手医科大
愛知医科大
滋賀医科大
和歌山県医大
京都府立医大
奈良県立医大
鹿児島大
産業医大
国際医療福祉大
北京大

2025年4月作成



優れている点⑯ 男女のバランスが良い

過去10年間の男女別の新規専攻医数の推移(2016～2025)



昭和医科大学医学部産婦人科学講座

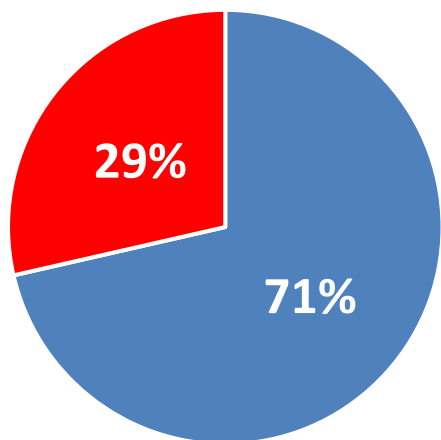


優れている点⑬

- 女性医師も男性医師同様にキャリアを重ねて、同じように多くが講師に昇進している。
- 女性医師の脱落(離職)が少ない。

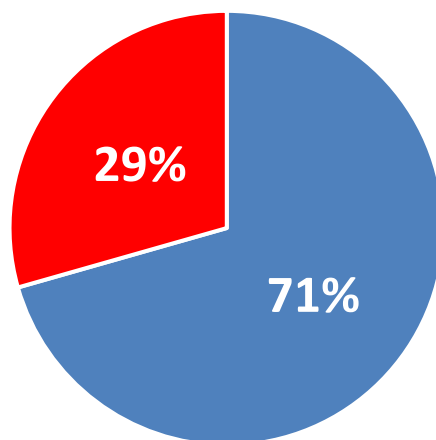
昭和大学付属4病院で集計

教授+准教授 N=14



■ 男性 ■ 女性

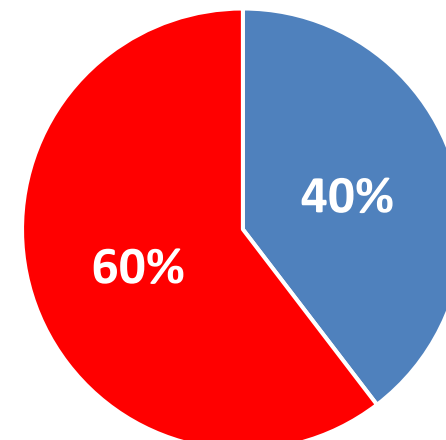
講師 N=17



■ 男性 ■ 女性

10年間の入局者 N=154

中途採用を含む



■ 男性 ■ 女性



昭和医科大学医学部産婦人科学講座

産婦人科専門医研修プログラムのまとめ

- 産婦人科医としての最初の5年間の研修がその後の医師としての一生を決めるといっても過言ではない。
- 昭和医科大学では産婦人科専門医取得に向けて質の高い研修が可能である。
- 産婦人科専門医取得後のサブスペシャリティの取得に向け、大学4病院と近隣の専門連携施設の質の高さが、当講座の最大の特徴である。
- 学会発表、論文発表、研究費獲得などの数は確実に増加している。
- 海外留学の実績も豊富にある。また、希望に応じて積極的に海外・国内留学の支援などを行っている。
- 国内で最先端の診療を多く手掛けている（特色のある専門診療の実績）。
- 毎年多くの入局者がいることには相応の理由がある。
- 教室のさらなる進化のために、多様な経験や目標を持つ医師を幅広く受け入れている。
- 昭和医科大学病院にまず見学に来てください。
- その上で、昭和医科大学病院（横浜市北部病院）専門医研修プログラムに応募して下さい。

2026年度 産婦人科専門医研修プログラム

昭和医科大学での募集予定



- 日本専門医機構
 - 募集開始は2024年11月1日からの予定(未公表)
- 登録の際は、以下の2か所に登録する
 - 日本専門医機構(日本産科婦人科学会)に登録
http://www.jsog.or.jp/activity/program_list/senkoui_touroku.html
 - 昭和医科大学の登録サイト
<https://www2s.showa-u.ac.jp/PCTC/opinion-0004.html>
- 見学などの問い合わせ先: ob-gyn@med.showa-u.ac.jp